

案件1 戸塚区における取組について

- ① 意見募集結果
- ② 結果を受けた今後の進め方
- ③ 管理者協議の進捗
- ④ 今後の予定

案件1 戸塚区における取組について

① 意見募集結果

案件1 戸塚区における取組について ① 意見募集結果

※実施する取組の内容は現時点での想定であり、関係者との協議や、将来的な利用状況に応じて変更となる場合があります。

■ 計画案

「連節バスの導入」(基本の取組)によって生み出された経営資源を、「他の路線の維持・強化」(取組1～3)に充てます。

【連節バスを導入する路線】

- ・ ドリームハイツ～(俣野公園・横浜薬大前)～戸塚バスセンター

【経営資源を再配分し、維持・強化を行う路線】

- ・ 下飯田駅方面、立場駅方面、藤沢駅



■意見募集の概要について

【目的】

- 本取組の概要について地域の皆様やバス利用者等に広報し、その内容を知っていただく。
- 地域の代表者だけでなく、若年層や中年層を含む
広くバスを利用されている方からも、本取組についてご意見を伺う。

【実施方法】

- 配布： 大正地区の希望される町内会自治会の全戸、
 神奈中バス車内、戸塚駅、横浜医療センター、
 大正地区センター、戸塚区役所窓口(区政推進課)
- 広報： 大正地区及び一部沿線の町内会自治会で回覧、
 神奈中バス車内ポスター掲示、市道路局ウェブサイト掲載、
 戸塚区役所ツイッター投稿(約8,500人フォロワー)

【回答方法】

- 横浜市道路局ウェブサイトのアンケートフォーム
- アンケート用紙の郵送、ファクス、Eメール、直接持参

戸塚区南西部で
バス路線を維持していくための取組について
ご意見をお聞かせください



横浜市と神奈川中央交通株式会社(以下「神奈川中央交通」)は、戸塚区南西部におけるバス路線の維持に向けた取組を進めており、主要バス路線の運行効率化と、それにより生じた経営資源をその他の路線へ再配分し、**エリア全体のバスネットワークを維持する取組**を検討しています。2, 3 ページに取組の素案を記載していますので、この取組の実施を想定してご意見をお寄せください。

募集期間・回答方法・お問合せ先

募集期間 令和3年10月1日(金)から10月21日(木)まで(当日必着)

回答方法 次の①または②の方法によりご意見をお寄せください。

①下記ウェブサイトのアンケートフォームからご回答ください。
 バス路線の維持・充実に向けた走行環境整備事業 ウェブサイト：
https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kotsu/bus_kotsu/soukou/soukoukankyou.html

②裏面の記入用紙にご記入いただき、下記の「ご提出先」まで、郵送、ファクス、Eメール、直接ご持参にて、記入用紙をご提出ください。(1枚につきお1人ご回答ください。記入用紙はコピーでも構いません。また、上記ウェブサイトからダウンロードもできます。)



ご提出先1 お問合せ先

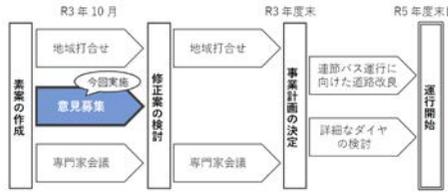
横浜市道路局企画課(交通計画班)
 〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10
 電話：045-671-3800 ファクス：045-651-6527
 Eメール：do-koutsuu@city.yokohama.jp

ご提出先2

横浜市戸塚区区政推進課(区役所9F 93番窓口)
 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16番地17
 電話：045-866-8326 ファクス：045-862-3054
 Eメール：to-kusei@city.yokohama.jp

取組スケジュール・意見募集の位置づけ

現在、神奈川中央交通が作成した素案について、関係の深い地域の皆さんとの打合せや専門家会議でご意見を伺っており、並行して、この意見募集により広くご意見を伺うものです。



■意見募集の概要について

【主な記載内容(表紙)】

- 意見募集の趣旨
- 実施概要(期間、回答方法等)
- 取組の概略スケジュール

戸塚区南西部
バス路線を維持していくための取組について
ご意見をお聞かせください



横浜市と神奈川中央交通株式会社(以下「神奈川中央交通」)は、戸塚区南西部におけるバス路線の維持に向けた取組を進めており、主要バス路線の運行効率化と、それにより生じた経営資源をその他の路線へ再配分し、**エリア全体のバスネットワークを維持する取組**を検討しています。2, 3 ページに取組の素案を記載していますので、この取組の実施を想定してご意見をお寄せください。

募集期間・回答方法・お問合せ先

募集期間 令和3年10月1日(金)から10月21日(木)まで(当日必着)

回答方法 次の①または②の方法によりご意見をお寄せください。

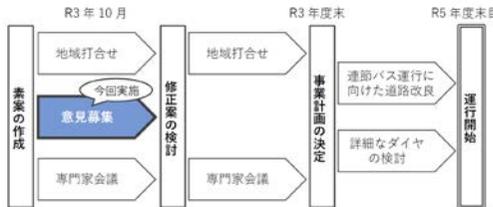
①下記ウェブサイトのアンケートフォームからご回答ください。
バス路線の維持・充実に向けた走行環境整備事業 ウェブサイト：
https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kotsu/bus_kotsu/soukou/soukoukankyou.html

②裏面の記入用紙にご記入いただき、下記の「ご提出先」まで、郵送、ファクス、Eメール、直接ご持参にて、記入用紙をご提出ください。(1枚につきお1人ご回答ください。記入用紙はコピーでも構いません。また、上記ウェブサイトからダウンロードもできます。)

| | |
|---|---|
| <p>ご提出先 1 お問合せ先</p> <p>横浜市道路局企画課(交通計画班) 〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10 電話：045-671-3800 ファクス：045-651-6527 Eメール：do-koutsuu@city.yokohama.jp</p> | <p>ご提出先 2</p> <p>横浜市戸塚区政推進課(区役所9F93番窓口) 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16番地17 電話：045-866-8326 ファクス：045-862-3054 Eメール：to-kusei@city.yokohama.jp</p> |
|---|---|

取組スケジュール・意見募集の位置づけ

現在、神奈川中央交通が作成した素案について、関係の深い地域の皆さんとの打合せや専門家会議でご意見を伺っており、並行して、この意見募集により広くご意見を伺うものです。



1

意見募集(アンケート)用紙表紙

※実施する取組の内容は現時点での想定であり、関係者との協議や、将来的な利用状況に応じて変更となる場合があります。

■意見募集の概要について

【主な記載内容(見開き)】

- バス事業の現状
- 取組の狙い
- 計画案

取組の背景

利用者の減少と乗務員不足によるバスサービス水準の低下

近年、少子高齢化による利用者の減少や、地下鉄の開通、生活スタイルの変化等により、戸塚区南西部における利用動向は大きく変化しています。また、大型二種免許保有者の減少・高齢化により、運転士も不足しており、利用実態に合わせた運行便数の調整（減便等）が必要な状況です。

加えて、コロナ禍によるテレワークや外出抑制などにより、路線バスの収支状況はさらに厳しい状況になっており、利用者の減少→収支悪化→減便→さらなる利用者の減少という悪循環が生じかねません。

コロナ禍による利用者の減少
(関東管内の路線バス乗車人員の推移：令和元年基準)

目指すもの

運行効率化と再配分によるバスネットワークの維持

そこで、横浜市と神奈川中央交通は、連節バスを導入する路線において、輸送力を確保しつつ許容できる範囲で便数を減らす一方で、生み出されたバス事業者の経営資源を他の路線に再配分することで、エリア全体のバスネットワークを可能な限り維持することを目指しています。

※収支改善のため、利用実態に合わせた減便等が避けられない状況であり、連節バスを導入しても、将来的にはエリア全体のサービス水準が今より低下する可能性もあります。

運行本数の多い路線

バスが通った状態での運行

大きなバスでの効率的な運行

路線の維持

路線の縮小

連節バス導入

収支悪化

収支改善

利用者減少

悪循環の改善イメージ

取組を実施する路線と実施内容の全体像（平日）

※実施する取組の内容や停車するバス停、運行間隔等は現時点での想定であり、関係者との協議や、将来的な利用状況に応じて変更となる場合があります。

基本の取組

戸塚方面 連節バスの導入

乗車定員が約2倍の連節バスを導入し、輸送力を確保しつつ許容できる範囲で運行便数を減らす一方で、バス事業者の経営資源を生み出します。

| 路線 | 取組前 | 取組後 |
|-----------------------|------------|------------|
| 朝（戸塚方面） | 17便（3～6分） | 13便（3～10分） |
| 昼 ^{※1} （両方向） | 7便（4～13分） | 5便（6～20分） |
| 夕（ドリームハイウェイ方面） | 11便（4～10分） | 7便（4～15分） |

「原宿バス停⇄戸塚バスセンター」の1時間あたり便数（目安）※乗降客も含む

| 路線 | 取組前 | 取組後 |
|-----------------------|------------|-------------|
| 朝（戸塚方面） | 2.0便（1～5分） | 1.7便（1～10分） |
| 昼 ^{※1} （両方向） | 1.0便（1～9分） | 0.8便（1～20分） |
| 夕（ドリームハイウェイ方面） | 1.5便（2～5分） | 1.1便（2～10分） |

※1ダイヤや全体の見直しにより、連節バスが運行する朝夕以外にも一部便数が変わる可能性がある時間帯が存在するため、※2に記載しています。

連節バスによる運行のイメージ

①ドリームハイウェイ⇄戸塚バスセンターの路線に導入
②朝と夕方に、大型バスと連節バスが混在して運行（昼は大型バスのみ）
③連節バスは、日立入口（戸塚方面）と消防署前（両方向）を通過予定

取組1

下飯田方面 収支の悪い路線の強化

収支の悪い下飯田方面の路線について、利便性を高めます。

①朝の通勤通学に合わせて、下飯田駅方面の始発を早めます。
②取組の補完に合わせて、保野公園・横浜葉大前方面の最終を遅くします。
③上記を含め、運行便数を増やします。

| 運行時間帯 | 取組前 | | 取組後 | |
|--------------|-------|--------|--------------------|-----|
| | 下飯田方面 | 始発 | 8時57分 | 6時台 |
| 保野公園・横浜葉大前方面 | 最終 | 19時54分 | 20時台 ^{※1} | |

便数 1時間あたり便数 0～2便 0～2便

※取組前の標準時間帯の1時間あたりで試算した場合は想定です
※2今後の協議や利用状況等に応じて変更となる場合があります

取組2

立場方面 路線の維持

利用者の減少により廃止が検討される可能性がある、立場方面の路線について、当面路線を維持します。

| 取組前 | 取組後 |
|----------|---------|
| 廃止の検討可能性 | 当面路線を維持 |

取組3

保野公園・横浜葉大前での乗継強化

立場・藤沢方面からドリームハイウェイ方面への直通路線はありませんが、保野公園・横浜葉大前で乗継割引等の検討により、立場・藤沢方面等への乗継を強化します。

| 取組前 | 取組後 |
|--------------------------|----------|
| 立場・藤沢方面からドリームハイウェイへの直通なし | 乗継割引等の検討 |

■意見募集の概要について

【主な記載内容(設問・回答)】

- 回答者の属性
- 普段の移動
- バス路線について感じていること
- 取組の必要性など

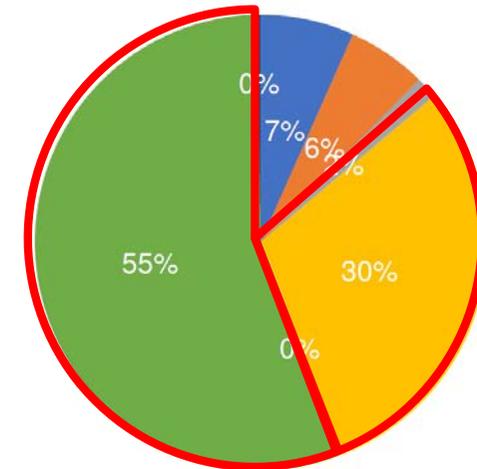
| 記入用紙 | | | | | | | | | | |
|---|---|-------|----|------|-----|-------|-------|-----|-------|-------|
| 下記について、該当する項目に☑、もしくはカッコ内に回答をご記入ください。 | | | | | | | | | | |
| 1 ご自身について ※主なものにひとつだけ☑を付けてください。 | | | | | | | | | | |
| (1)ご住所 | <input type="checkbox"/> 戸塚区内(町丁目: _____) <input type="checkbox"/> 戸塚区外(市区町村名: _____) | | | | | | | | | |
| (2)ご年齢 | <input type="checkbox"/> 9歳以下 <input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代 <input type="checkbox"/> 80代以上 | | | | | | | | | |
| 2 駅またはその他の目的地までの移動について ※主なものにひとつだけ☑を付けてください。 | | | | | | | | | | |
| (1)主な行き先 | <input type="checkbox"/> 戸塚駅 <input type="checkbox"/> 大船駅 <input type="checkbox"/> 藤沢駅 <input type="checkbox"/> 立川駅 <input type="checkbox"/> 下飯田駅 <input type="checkbox"/> ゆめが丘駅 <input type="checkbox"/> 湘南台駅 <input type="checkbox"/> その他(駅名・具体的な目的地名: _____) | | | | | | | | | |
| (2)(1)への移動目的 | <input type="checkbox"/> 通勤 <input type="checkbox"/> 通学(□小学校 □中学校 □高校 □大学 □その他) <input type="checkbox"/> 買物 <input type="checkbox"/> 通院 <input type="checkbox"/> その他(_____) | | | | | | | | | |
| (3)(1)への主な移動手段 | <input type="checkbox"/> 路線バス <input type="checkbox"/> 送迎バス等(路線バス以外) <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 自家用車 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> その他(_____) | | | | | | | | | |
| (4)(1)への移動頻度 | <input type="checkbox"/> 週5回以上 <input type="checkbox"/> 週3~4回 <input type="checkbox"/> 週1~2回 <input type="checkbox"/> その他(_____) | | | | | | | | | |
| 3 路線バスの状況について ※該当するものすべてに☑を付けてください。 | | | | | | | | | | |
| (1)近年変化を感じていること | <input type="checkbox"/> ご自身の路線バスの利用が減った <input type="checkbox"/> ご自身以外(の)路線バスの利用が減った <input type="checkbox"/> 便数が増った <input type="checkbox"/> 混雑する時間帯が変わった <input type="checkbox"/> その他(_____) | | | | | | | | | |
| (2)課題として感じていること | <input type="checkbox"/> 非効率な運行(バスの連なった運行など) <input type="checkbox"/> 利用者の減少(バス路線の維持) <input type="checkbox"/> 便数の減少 <input type="checkbox"/> その他(_____) | | | | | | | | | |
| 4 バス路線を維持していくための取組について ※該当するものにひとつだけ☑を付けてください。 | | | | | | | | | | |
| (1) 2、3ページ目に記載の「連節バスを導入する路線において、輸送力を確保しつつ許容できる範囲で運行便数を減らす一方で、生み出された経営資源を他の路線に再配分することで、エリア全体のバスネットワークを可能な限り維持する」取組は、必要だと思われますか。 | <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> どちらかといえば必要 <input type="checkbox"/> どちらかといえば必要ない <input type="checkbox"/> 必要ない | | | | | | | | | |
| (2) (1)の回答の理由をお書きください。 ※①で「どちらかといえば必要ない」「必要ない」と回答された方は、必ずご記入ください | | | | | | | | | | |
| <p style="text-align: center;">最後に お聞かせください</p> <p style="text-align: center;">生活圏を中心としたまちづくりについて</p> <p>少子高齢化により、通勤通学での移動が減り、身近な生活圏での移動が増えていることを踏まえてお聞かせください。</p> <table border="1" style="float: right;"> <caption>人口構成推移の例</caption> <thead> <tr> <th>(年齢別)</th> <th>人口</th> <th>高齢化率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H11</td> <td>6,245</td> <td>12.5%</td> </tr> <tr> <td>H13</td> <td>4,802</td> <td>43.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 現在、買物や通院、余暇活動等、日常生活に必要な用事を済ませている場所、すべてに☑を付けてください。 <input type="checkbox"/>鉄道駅周辺(□駅前周辺 □その他駅以外の場所(_____)) <input type="checkbox"/>買物 <input type="checkbox"/>通院 <input type="checkbox"/>余暇活動 <input type="checkbox"/>その他(_____)</p> <p>点線枠内に印した方 → 鉄道駅周辺以外の場所で済ませられる用事、すべてに☑を付けてください。 <input type="checkbox"/>買物 <input type="checkbox"/>通院 <input type="checkbox"/>余暇活動 <input type="checkbox"/>その他(_____)</p> <p>(2) 鉄道駅以外の場所(身近な生活拠点等)で用事を済ますために、現在足りないものすべてに☑を付けてください。 <input type="checkbox"/>商店 <input type="checkbox"/>医療機関 <input type="checkbox"/>娯楽施設 <input type="checkbox"/>その他(_____)</p> <p>その他、この意見募集の内容に関するご意見を自由にご記入ください。</p> | | (年齢別) | 人口 | 高齢化率 | H11 | 6,245 | 12.5% | H13 | 4,802 | 43.4% |
| (年齢別) | 人口 | 高齢化率 | | | | | | | | |
| H11 | 6,245 | 12.5% | | | | | | | | |
| H13 | 4,802 | 43.4% | | | | | | | | |
| ※アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。 | | | | | | | | | | |

■意見募集の結果について

【回答状況】

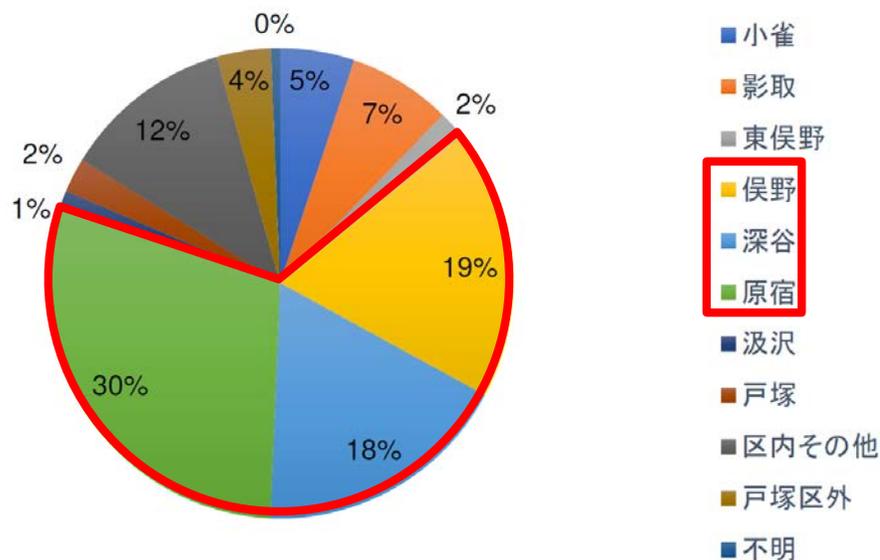
- 回収率 13.1%（配布:13,245通、回答:1,729通）
回答方法は地域回収に次いでウェブフォーム
- 回答者の住所・年齢
住所：関係が深く全戸配布を実施した「俣野・深谷・原宿」が多い
年齢：「70代」が最多だが、「40～60代」からも回答

回収方法(N=1729)

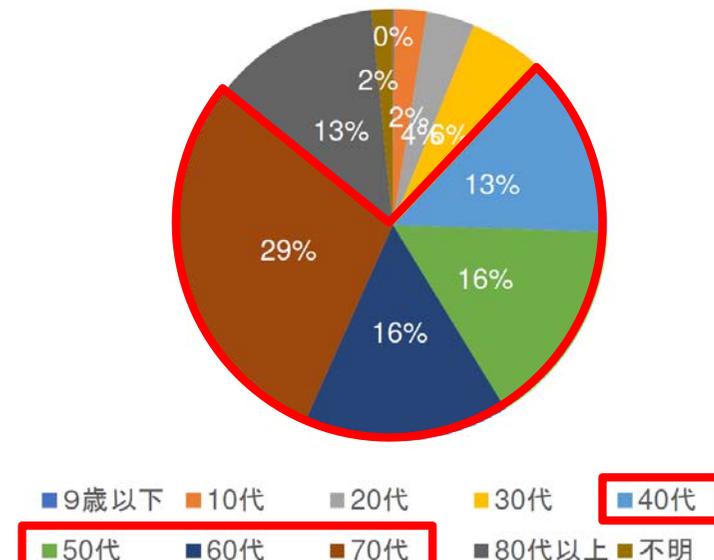


■投函 ■FAX ■郵送 ■ウェブフォーム ■持参 ■地域回収 ■Eメール

1 - (1) ご住所(N=1729)



1 - (2) ご年齢(N=1729)



■ 意見募集の結果について

【結果概要】

- 近年変化を感じていること
「自身の路線バスの利用が減った」が約4割
「便数が減った」が2割強

町別・年代別の明確な傾向は無いが、
細かく見ると、町別では原宿以南の

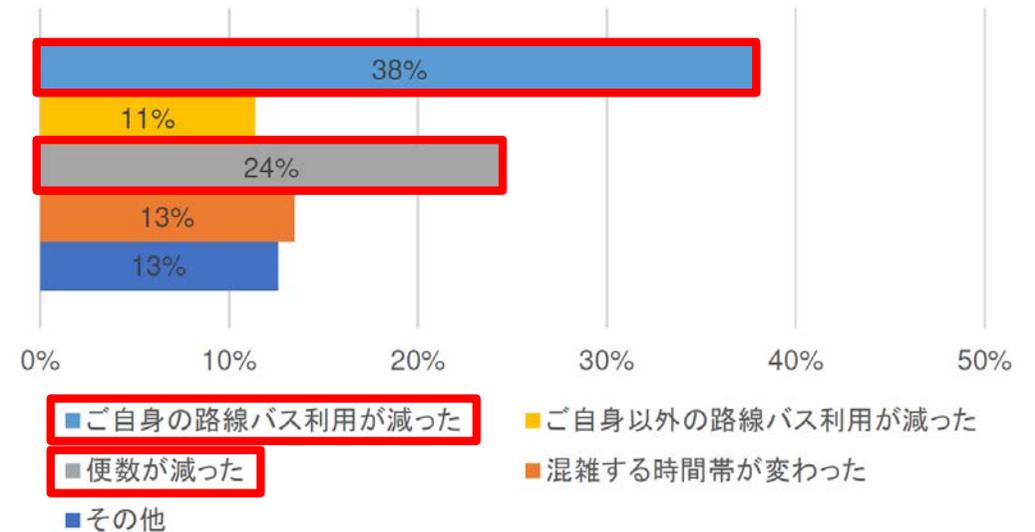
- ・小雀町で「自身の路線バスの利用が減った」
 - ・東俣野町で「便数が減った」
- の割合が比較的高い

- 課題としてを感じていること
「便数の減少」「非効率な運行」ともに約3割

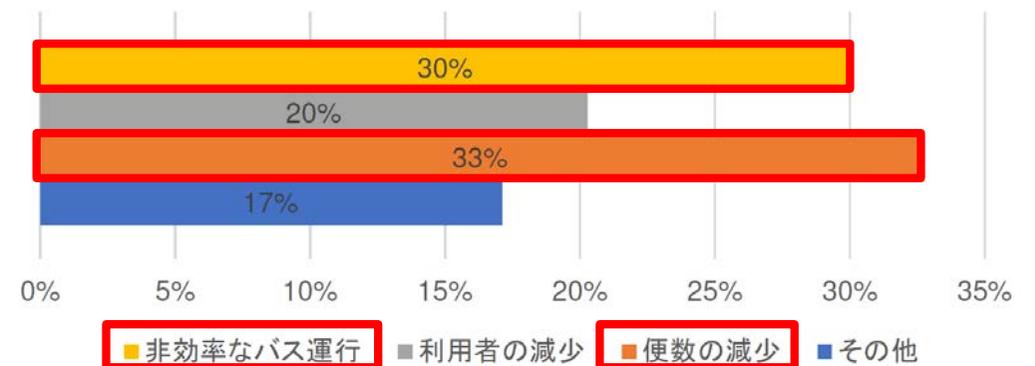
町別・年代別の明確な傾向は無いが、
細かく見ると、年代別で

- ・若年層ほど「便数が減った」
 - ・高齢になるほど「自身の路線バスの利用が減った」
- との割合が比較的高い

3 - (1) 近年変化を感じていること(N=1945)



3 - (2) 課題として感じていること(N=1747)



■ 意見募集の結果について

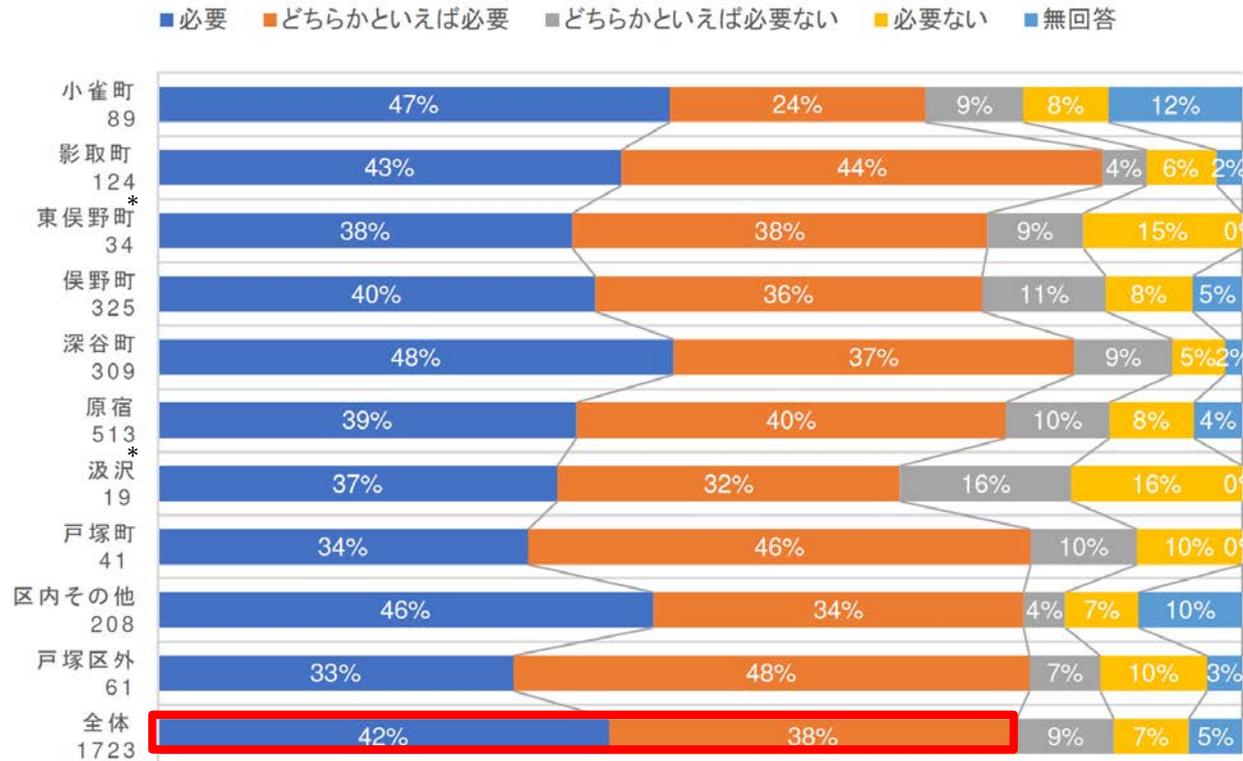
【結果概要】

- 取組の必要性

約8割の方が「必要」「どちらかといえば必要」と感じている

※町別、年代別、普段の移動手段・頻度等による回答傾向の違いはなし

4 - (1) 連節バス導入取組み(N=1723)



*東俣野町・汲沢は票数が比較的小数です

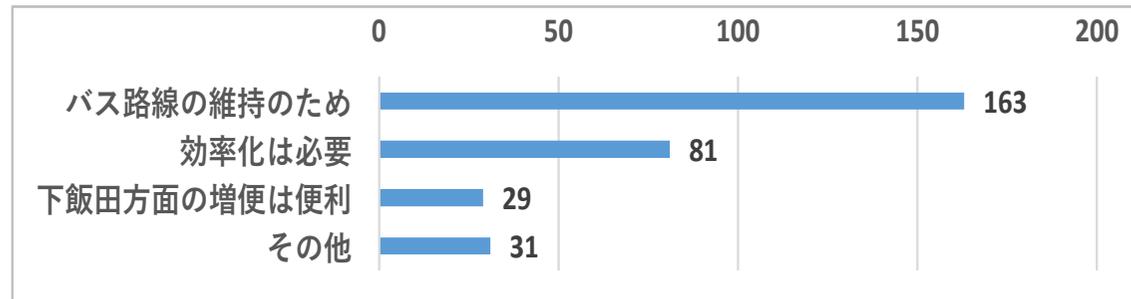
案件1 戸塚区における取組について ① 意見募集結果

■意見募集の結果について

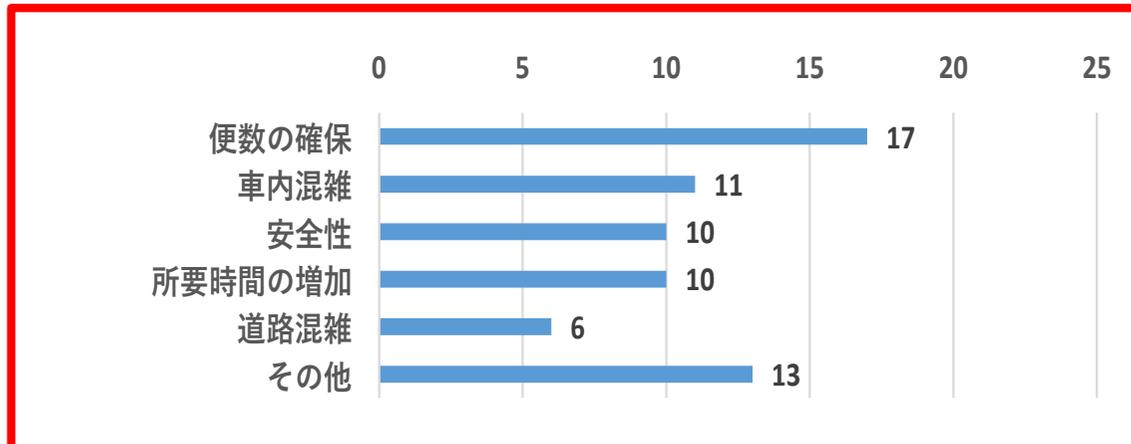
【結果概要】

- ・「必要」「どちらかといえば必要」と回答した方の主な理由・意見（N=1369） ※自由記述

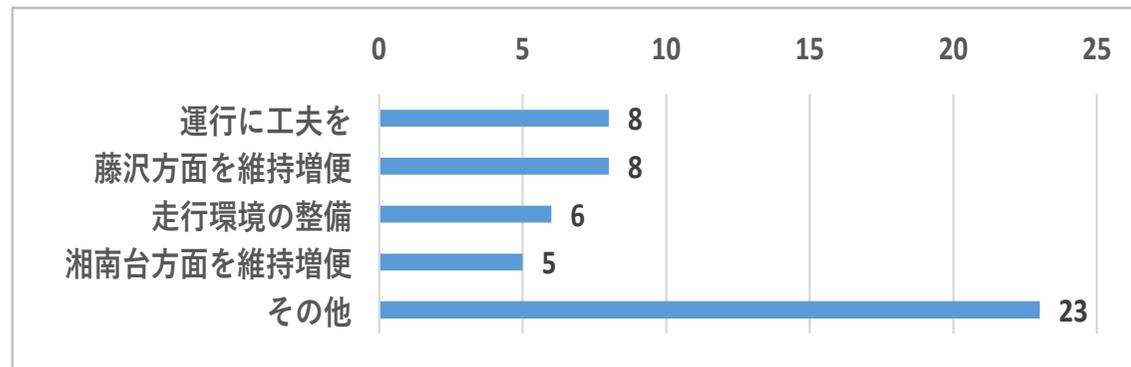
理由(304)



懸念事項(67)



要望(50)

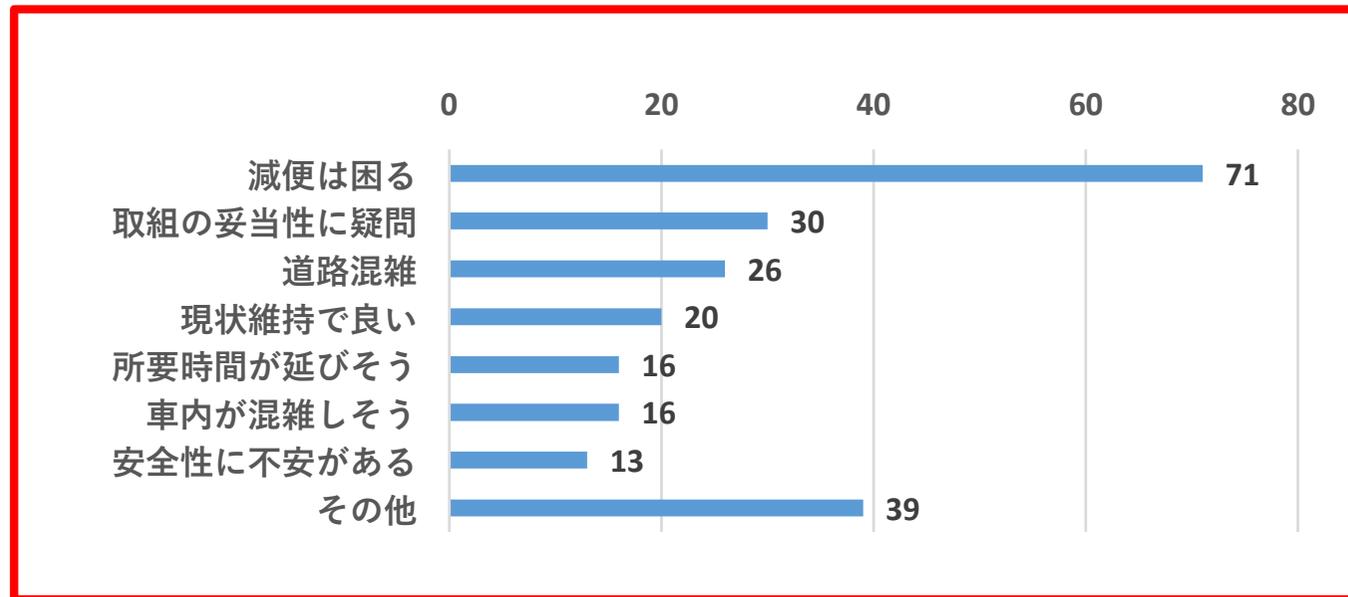


■意見募集の結果について

【結果概要】

- ・「どちらかといえば必要ない」「必要ない」と回答した方の主な理由・意見（N=279） ※自由記述（記入を依頼）

理由(231)



■意見募集の結果について

【結果概要】

- ・「どちらかといえば必要ない」「必要ない」と回答した方の分析

方法:

全回答者(N=1729)と上記回答者(N=203)とで、各設問に対する回答傾向を比較
単一回答で3%以上、複数回答で5%以上の差が生じている項目を抽出

結果:

回答総数と比較して上記回答者の割合が高かった設問・回答

| | | |
|-----------|---------------|----------|
| 普段の移動手段 | <u>路線バス</u> | (+3.6%) |
| 移動頻度 | <u>週5回以上</u> | (+9.2%) |
| 近年感じている変化 | <u>便数が減った</u> | (+7.4%) |
| 感じている課題 | <u>便数の減少</u> | (+10.4%) |

回答総数と比較して上記回答者の割合が低かった設問・回答

| | | |
|-----------|-----------|----------|
| 普段の移動手段 | 自家用車 | (-3.3%) |
| 移動頻度 | 週1~2回 | (-7.2%) |
| 近年感じている変化 | 本人の利用が減った | (-8.9%) |
| 感じている課題 | 利用者が減った | (-11.1%) |

近年も継続して
路線バスの利用が多く、
便数の減少を実感している方

*ただし、各設問でのクロス集計では、
「必要:約8割、不必要:約2割」
という傾向に変わりはありませんでした。

案件1 戸塚区における取組について

② 結果を受けた今後の進め方

■結果に対する地域からの主な意見(大正連合町内会自治会、原宿町内会)

- 取組について8割は必要性を認識しており、概ね了解は得られているという印象
- 計画案の修正に関する意見は特にない
- 懸念事項への対応策等は早めにアナウンスしてほしい

■今後の進め方(地域への広報)について

- 【意見募集】「減便はやむを得ないが、一定数は便数を確保してほしい」「道路混雑が心配」といった懸念
- 【地域打合せ】 懸念事項への具体的な対策案の提示や、それらの早めのアナウンス等の要望
⇒取組の基本的な考え方や懸念事項への対応策を、あらためて広報していく
+引き続き、定期的に情報共有の機会を設けていく
- 【意見募集】 駅寄りの一部沿線地域からの回答が少なく、意見募集に関する問合せが数件あった
⇒駅寄りの沿線地域も含めて広報を行う

案件1 戸塚区における取組について

④ 今後の予定

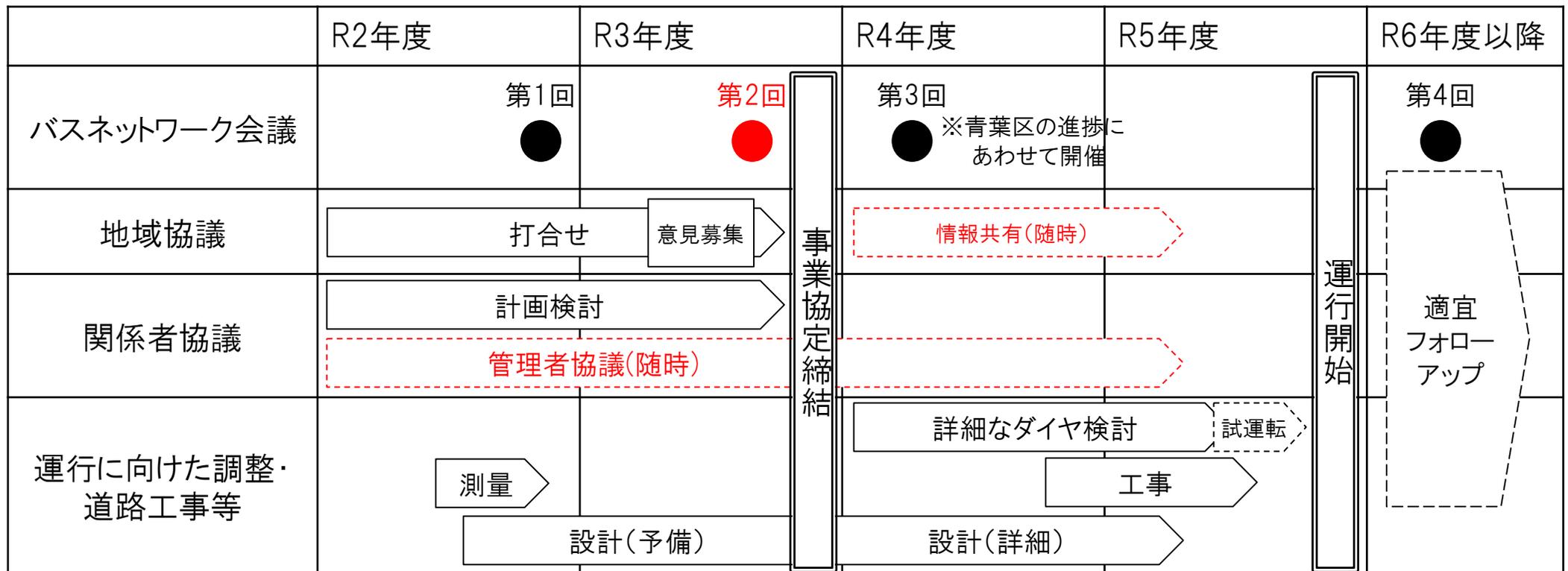
案件1 戸塚区における取組の進捗及び計画案 ④ 今後の予定

■引き続き

- 地域への広報・定期的な情報共有
- 管理者協議

■事業協定締結後

- 次回:事業計画(取組の詳細な実施内容)についてご報告
※青葉区における取組の進捗に併せて開催を予定



※現時点での大まかな予定であり、関係者協議等の進捗により今後も適宜変更する場合があります。